

集会宣言

本集会は、首切りと改憲—戦争への道をひた走る小泉反動と闘う、人民の総決起集会である。

小泉内閣・国交省と空港会社は、三日、暫定滑走路北延伸の施設計画案と新たな騒音コンターを公表した。北側に三一〇メートル延伸する一方、東峰区で空港敷地を拡張して新誘導路を建設する。わが反対同盟は断固として闘争を宣言する。

計画内容には心底怒りがこみ上げる。新誘導路は東峰区にとつてかけがえのない「東峰の森」の破壊を前提としている。この誘導路は滑走路南端近くで飛行コースと交差する常軌を逸した計画だ。ジャンボ機の飛行は、天神峰・東峰会と飛行直下の生活を激しく侵害する。

しかも、これまで未買収地に挟まれて安全基準を満たせずジャンボ機の走行を禁止してきた誘導路（現在供用中の連絡誘導路）で、今度はジャンボ機を行なせるという。延伸の結果、航空保安区域にかかり移転が不可避の成田クリーンパークと、保安区域を横断する東関道の危険については対策がたたず言及できなかつた。計画は場当たり的で無責任、欠陥だらけである。

北延伸のねらいは天神峰・東峰区の闘争の解体であり、あくまでも当初計画への舞い戻りである。〇七年株式上場と〇九年羽田国際化が迫つていて、空港をめぐる国家間競争が激しくなる中、空港会社はあがきにあがいている。

この北延伸を断固粉碎しよう。闘いの道筋は、新誘導路建設阻止であり、「東峰の森」の防衛である。

総選挙後の数の力を背景として、小泉内閣は官公労労働運動を解体し、財政破たんのツケを年金・医療など社会保障の削減にふり向け、イラクの自衛隊派兵を継続し、教育基本法改悪—改憲へと一気に突進している。

戦後最大の試練が到来している。勤労千葉を先頭に労働者人民は闘いを開始した。沖縄では普天間基地返還と辺野古新基地阻止闘争が爆発し米軍再編に打撃を与えていた。三里塚は朝鮮有事の米軍基地化を阻止するために不屈に闘い続けている。軍事空港粉碎・北延伸阻止の本集会を、小泉反動粉碎ののろしとしよう。いまこそ労農連帯の力を結集し戦争への道を阻止しよう。

二〇〇五年十月九日